

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調書

4-I-7

4-I-7

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	案内標識の設置
節	I. アクセスルートの整備・来訪者の誘導等	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業(施策)名	7 遺跡案内表示の整備、充実	関連団体	佐渡市観光振興課、佐渡市交通政策課
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	【事業目的】 ○ 来訪者の円滑な移動に向けて、主に徒歩による遺跡への案内表示の充実を図る。 【事業内容】 ○ 関係機関が連携して、遺跡案内板など案内表示の整備、充実を図る。 【本計画終了時点のゴール】 ○ 全体設置予定のサイン139基のうち、50%のサイン設置を完了する。(来訪者の現地受入体制を充実させることで、利便性が向上する。) ※50%については、史跡整備基本計画に基づき、R3～R6の計画で、設置場所の優先順位や設置数を算出		
これまでの取組実績	○ 令和2年3月に策定した「史跡佐渡金銀山遺跡整備基本計画」において、遺跡案内表示の整備に関する方針を定めた。 - また、上記方針に基づき、解説・歩行者誘導・注意喚起等のサイン計画を定め、計画的なサイン設置を進めた。		
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● 上寺町地区及び鶴子銀山(大滝地区)において歩行者誘導サイン9基を設置する。 【R6年度実績】 ● 上寺町地区及び鶴子銀山(大滝地区)において、歩行者誘導サイン13基を設置した。		
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 〔(A)・B・C〕 ◇ 全体設置予定基数139基のうち、50%を超える96基のサイン(解説・規制・歩行者誘導)を設置したことから、A評価とした。		
課題	■ 構成資産が広範囲に分布し、設置予定箇所数も多いことから、今後も計画的にサインを設置する必要がある。 ■ 国補助事業等の財源が確保できない場合、事業進捗に影響が出る。		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。